

平成20年度第2回調査・研究部議事録
日時：平成21年1月21日(水)14:00～18:00
場所：地盤工学会 JGS 会館 大会議室
出席者：善部長ほか12名

【審議事項】

- ・前回(H19/6/16開催)議事録の確認
- ・全体関係
- 1.平成20年度決算見込および平成21年度予算について
 - 第44回地盤工学研究発表会における企業ブースが5ブース追加された旨が報告された。
 - 平成21年度予算に関しては、DVDの販売価格が決定してからもう一度精査することとした。
- 2.平成21年度の事業方針について
 - ・2.事業計画(1)「委員会活動関連 受託研究などによる外部資金を導入した研究について検討する。」および「各種関連委員会活動のあり方について検討し、次年度の実行案を策定する」の記載を以下のように修正した。
 - 修正1「受託研究について見直しを行う」
 - 修正2「各種関連委員会企画のあり方について検討し、次年度の実行案を策定する。」
- 3.平成21年度の実施体制について
 - ・個々の常設委員会において、次年度の委員構成案を検討し、3月末までにメンバー確定、5月末に新体制を整えることとした。
- ・委員構成会関係
- 1.委員の追加,交代
 - (1)災害記録普及研究委員会の委員交代
 - 田蔵 隆 委員(清水建設(株)技術研究所) → 張 至鎬 氏(同所)
 - 理由:業務の都合
 - (2)地盤環境プロジェクトにおける環境影響評価技術の高度化と適用に関する研究委員会の委員追加
 - 島田 久美子 氏(ケミカルグラウト(株)東日本支社首都圏支店環境プロジェクト部)
 - ・上記,(1),(2)の交代について承認された。
- ・研究統括委員会関係
- 1.H21新設研究委員会の設立および委員公募要領
 - (1)土質試験結果の精度の分析と表記方法についての研究委員会
 - 応募者:柴田 東 氏((株)興和調査部)
 - 委員長候補:澤 孝平 氏(明石高専名誉教授・(協)関西地盤環境研究センター 専務理事)
 - (2)情報通信技術(ICT技術)の適用による地盤工学の高度化に関する研究委員会
 - 応募者:宮田 喜壽 氏(防衛大学校)
 - 委員長候補:大谷 順 氏(熊本大学大学院自然科学研究科 教授)
 - ・上記,(1),(2)委員公募要領について説明がなされ、その後の委員会立ち上げまでの概略スケジュールについての説明があった。
- 2.研究委員会予算傾斜配分
 - ・各研究委員会幹事宛に「今年度の予算執行状況の確認と今年度の活動予算の増額に関するアンケート(使用内容と希望予算)」を実施。なお、全体予算から、総額20万円程度の配算が可能。
 - ・実施予定であったアンケート内容に関する説明がなされた。なお、今年度の予算執行状況を精査し、実際にはアンケート調査および再配算は実施しなかったが、来年度以降、予算執行状況をらみつつ、再配算をしていく旨が報告された。
- 3.高炉水砕スラグの地盤工学的有効利用促進に関する研究委員会の共同研究
 - ・当該研究委員会(委員長:松田先生)から、調査試験を実施するにあたり、鉄鋼スラグ協会との共同研究で予算を賄いたいとの要請あり。
 - 実施内容・予算は完全に研究委員会が一括管理する。
 - 先方の協会から学会への受発注契約,受委託契約ではない。

- ・鉄鋼スラグ協会と当該委員会の共同研究についての経緯と研究予算についての説明がなされた。協会からの研究費について、実施的な寄付行為であり研究委員会だけで使用することが適切かどうか、寄付研究という位置づけで学会として取り扱うことができるか再度、検討することとなった。

4. 地盤工学会の委託研究の扱い

- ・学会収益性の見直しを求められており、受託研究委員会について、過去5年（H14～18年度、発注者、年度、額、契約方式、担当委員会）の実績を整理し、受託契約に絡む適正なフローについて提案。
- ・受託研究委員会について、クライアントからの要請、受託の可否、契約、委員会の立ち上げまでのフローについて説明がなされた、フローについては承認され、総務部で検討されることとなった。

5. 研究企画委員会の見直し

- ・研究企画委員会が3期目（規定では1期3年で、3期継続）に入ったこともあり、現状の3企画委員会（地震、斜面、環境）について4期以降も継続するかの検討をそろそろ実施していく旨が説明された。

・行事委員会関係

1. 研究発表会

(1) 第44回地盤工学研究発表会（関東大会：21年度）

- ・展望 大谷 順氏（熊本大学）を第一候補として承認した。

(2) 第45回地盤工学研究発表会（四国大会：22年度）

(3) 第54回地盤工学シンポジウム（60周年記念）

- ・第54回地盤工学シンポジウム実施にあたり、下記の項目について報告され、了承された。
 - 50周年から60周年の間に行われた国内外のビックプロジェクトに関し、応募していただくよう依頼する。
 - 60周年記念委員会に協力要請して、他のイベントと合わせPRしていただく。
 - 平成20年度の論文賞受賞者等を対象とした特別講演がある旨を募集原稿に明記する。
 - 3名程度に優秀論文賞を授与するが、審査方法はプロセスを明確にさせるよう、表彰委員会から指摘があった。また、地盤工学ジャーナルへの投稿を促すが、査読については通常通り実施する旨の説明がなされた。

・学術情報委員会関係

1. DVDおよび電子図書室

(1) 経過報告

- ・60周年記念DVD作成と新電子図書室について、経緯、DVDと新電子図書室の棲み分け、委託業者の選定、DVD販売計画および新電子図書室の有料システムについて以下の議論がなされた。
 - DVDの販売戦略として、新電子図書室開設の時期をずらすべきである。
 - DVDの売り上げは、実質システムの更新に使われるが、これからの維持費150万円/年（現状、400万円/年）に対し、半年後には有料化になるため、その前にDVDの販売を促したい。
 - 電子データに関し、追加でどのようなものがあるのか、他のコンテンツに対し、差別化を示す必要がある。また、映像に関しては、事業部と調整が必要であろう。

(2) DVD価格算定のためのアンケートの実施

- ・「学会所蔵全論文等の一括DVD販売に関するアンケート」に関する説明があった。
 - DVDに関し、利用者は個人が対象なのか、法人対象なのか質問があった。基本的にDVDは法人を対象としたものである旨の回答があった。
 - アンケートは、法人会員500件、個人700件、大学（図書館）：100件、官公庁（出先機関）：1100件に対し祐文にて実施した旨が報告された。

2. 製作者選定、費用について

- ・DVD開発および作成と電子図書室Webシステム開発の業者見積もりについての説明がなされた。現状使用している大塚商会のVisual Finderは継続して使用可能かどうかの質問があった。

3. 会員への会告掲載

- ・会告原稿「60周年記念DVD発行と電子図書室リニューアルに関するお知らせ」に関する説明があった。
- ・タイトルの“リニューアルに関する”が“有料化の”に訂正された。

- ・金額について“2000 円/年”と記載，“今後の利用状況如何で安価に“としていたが，該当部に関して，金額の設定スケジュールを検討した上で，オープンした方が良い旨の意見があった．
- ・原稿の電子図書室に関しては，“3 月一杯”で終了する旨の記載があったが，時期については“現在検討中”とした．

【報告事項】

- ・理事会（H20/7/31, 9/26, 10/31, 11/28）開催報告
 - 学会の公益法人化に関し，補足説明があった．
- ・研究統括委員会関係
 1. 研究統括委員会運営細則改定
 - ・下記 2 点の規定改定について，報告された．
 - 災害時対応後の災害調査委員会設立について（第 7 条）
 - 学生会員の研究委員会への参加（第 9 条および申し合わせ事項の追加）
 2. 学生会員の研究委員会参加
 - ・「地盤環境プロジェクトにおける環境影響評価技術の高度化と適用に関する研究委員会」手続き完了の旨，報告された．
 3. 委員会主催シンポジウムの開催
 - ・下記 1 件のシンポジウム開催報告，3 件の開催計画に関する説明がなされた．
 - 「四川大地震」・「岩手・宮城内陸地震」被害調査報告会 2008.12.11 開催済み
 - 共催：レーザーキャナによる斜面地形情報取得技術の高度化とその利活用に関する研究委員会 中部支部中部総合地震防災システム研究委員会（第 3 部会）
 - 場所：名駅ガーデンビル中央店 第 1 会議室
 - 「最近のサウンディング技術と地盤評価シンポジウム」
 - 主催：最近の CPT テクノロジーテクノロジーとその設計・環境・防災への適用に関する研究委員会
 - 後援：全国地質調査業協会連合会
 - 日時：平成 21 年 10 月 22 日（木）・23 日（金）
 - 会場：地盤工学会会議室
 - 論文申込み：アブストを平成 20 年 2 月 27 日まで，本論文を 5 月 31 日までに提出．
 - 「2007 年新潟県中越沖地震災害調査委員会」報告会
 - 日時：平成 21 年 2 月 6 日（金）13：30～17：30
 - 会場：地盤工学会 地階大会議室
 - 参加費：会員 2000 円，非会員 3000 円、学生 1000 円（報告書は別）
 - 報告書（DVD 付）：3000 円（消費税込み）当日会場にて販売．（学会調査・基準課でも常時販売）
 - 定員：90 名
 - 山留め計画・設計・施工で困った時に役立つ「開削工事における創意工夫技術に関する委員会報告会」
 - 後援：（社）土木学会，（社）日本建築学会
 - 日時：平成 21 年 4 月 17 日（金）
 - 会場：地盤工学会会議室
 - 参加費：会員 2,000 円 非会員 3,000 円 学生会員 500 円（報告書代を含む）
 4. 「2008 年岩手・宮城内陸地震災害調査委員会委員」公募
 - ・幹事委員以外の委員に関し，公募としたい旨の依頼が当該委員会よりあった．公募は平成 21 年 1 月 9 日締め（地盤工学会誌 12 月号掲載）．なお，設立に関し，年度中途（来年 1 月）の設立になるため，今年度の予算は 0 で，新年度に関しては，予算案に計上することで合意済みである旨が報告された．
 5. 「岩の力学連合会」からの理事推薦依頼
 - ・「岩の力学連合会」から研究連携部門・岩盤工学研究連携委員会に理事推薦依頼があり，研究委員会で対応中であることが報告された．
- ・行事委員会関係

1．第44回地盤工学研究発表会（関東大会：21年度）

(1) 論文募集会告

(2) 技術展示コーナー募集会告

(3) プログラム編成の組織

・プログラム編成WG運営細則（案）に関する説明があり，第44回地盤工学研究発表会から，仮運用を開始する旨が報告された．

以 上